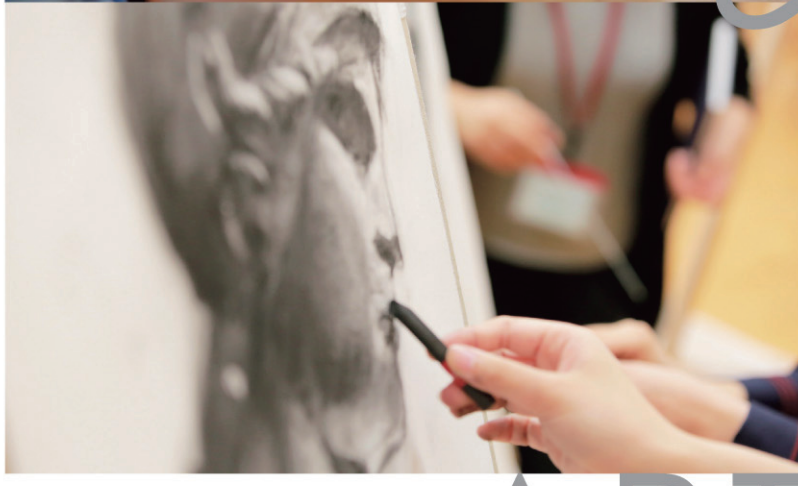
ルーテル学院高等学校 芸術コース
学校案内 2021

MUSIC

&



ART

音楽専攻 / 美術専攻

自分のチカラを将来、
人のために使えるチカラに。

豊かな感性は一生の宝

本校は、1994年（平成6）年より本格的に音楽専攻・美術専攻の芸術コース入学者募集を開始しました。

音楽専攻は優れた音楽家の育成を目標として、ソルフェージュ、音楽理論、音楽史などの音楽専門科目の授業を取り入れ、実践的な学習をしています。

美術専攻は社会に貢献できる優れた美術作家、デザイナーの育成を目標として、生徒一人ひとりに対応した細やかな授業を実践しています。

音楽・美術ともに学校内外で発表の場を多く持ち、各種コンクール入賞・入選などの実績を残しています。また、卒業生の中からは国内外で活躍する演奏家や、芸術作家・デザイナーを輩出しています。

同じ目的を持った仲間と共に芸術の世界を深く学んでみませんか。あなたの創造力、自己表現力は無限大の可能性を持っています。

在校生にとって「来て良かった」学校
保護者にとって「やって良かった」学校
卒業生にとって「出て良かった」学校
私たちはこのような学校を目指しています

芸術コースの特長

難関芸術系大学進学率 県内ナンバーワン

有名難関芸術大学の入試倍率は極めて高く、現役での合格は難しいと言われています。そのような中、本校で学んだ生徒は芸術系有名大学へ多数進学し、活躍の場を広げています。本校生徒の中から、大学首席卒業生を多く輩出しているのも本校の特徴です。

指定校推薦枠 県内最多数保有

音楽専攻・美術専攻共に多数の指定校推薦枠を保有しており、高校卒業後も深く学べる環境づくりをしています。

▶P9：音楽専攻推薦枠　P17：美術専攻推薦枠

一人ひとりに合わせた ていねいな指導

初級者から豊富な経験を持つ者まで幅広く専門的な学習ができます。私学である強みを生かし一人ひとりに合わせた丁寧な指導を行い、将来必要とされる人材へと成長するための支援を行います。卒業後の進路についても親身になってサポートしています。

目次

P1-2　芸術コースについて
P3-10　音楽専攻について
P11-18　美術専攻について
P19-20　ルーテル学院ならではの特色
P21-22　入学試験過去問題・実技試験実施要項

MUSIC

芸術コース

音楽専攻

整った環境で 表現力を高め 可能性を広げる

身につく能力

音楽の世界を深める力

思いを訴える音楽づくり

音楽を生かした
進学の道をつくる基礎

授業内容

●新曲視唱　●コンコーネ
●コールユーブンゲン　●聴音
●楽典　●和声　●音楽史　など

本校では、幅広い教養と人間力とを兼ね備えた、魅力あふれる音楽家の育成を目指しています。そのために少人数制をとり、きめ細かな指導を行っています。3年間を通して、音楽を多角的に学び、幅広い視野とより高い技術を身に付けるカリキュラムを整えています。
もちろん、ピアノなどの実技については、高校入学後も、中学校時代にレッスンを受けていた先生に継続して学び続けることができます。

このように、3年間同じ目的を持った仲間とともに音楽の世界を深めていける環境が整っています。

在学生の声

日常的に音楽に触れながら学ぶ

音楽 / 声楽
3年　森田 穂奈美さん
（帯山中学校出身）

芸術コース音楽専攻では、3年間を通して音楽の様々な分野の知識を習得すると共に、同じ目標を持った仲間達とお互いを高め合いながら、授業や各自の実技の練習に取り組むことができます。伝統あるこの学校では、ミッションスクールならではの行事に参加することができ、毎日歌う賛美歌、パイプオルガンの演奏、クリスマス礼拝で歌うハレルヤコーラスなど日常的に音楽に触れることができます。また、定期的に主科発表会や音楽会などがあり、自分の演奏技術を高め豊かな表現力を磨くことも魅力の一つです。音楽を通して貴重な経験ができるルーテル学院で、充実した高校生活を一緒に送りませんか？

整った環境

礼拝堂グランドピアノ(C7)

ピアノ練習室

第1音楽室

第2音楽室

チェンバロ

礼拝堂電子オルガン(ELS−02C)

第1音楽室電子オルガン(ELC−02)

マリンバ

ヴィブラフォン

充実したカリキュラム

▶選択必修科目

	音楽Ⅰ	音楽Ⅱ
1年	2	
2年		1

▶芸術コース専門科目

	ソルフェージュⅠ	ソルフェージュⅡ	ソルフェージュⅢ	音楽理論Ⅰ	音楽理論Ⅱ	音楽史
1年	4					
2年		4		3		
3年			4		4	1

※芸術以外の科目については、本校パンフレットをご覧ください。

施設・設備・学校所有の楽器について

ピアノ練習室5室

・アップライトピアノ 3室
・グランドピアノ 2室
大学礼拝堂や中学高校礼拝堂、2つの音楽室（第1音楽室2台・第2音楽室2台）のグランドピアノも練習に使用できます。
※ピアノ専攻生徒にお勧めのピアノ
ヤマハ CFⅢ
（大学礼拝堂・500人収容のコンサートホール）
ヤマハS7（第2音楽室）
ヤマハS6（第1音楽室）

その他の所有楽器

・パイプオルガン（礼拝堂）
・電子オルガン ヤマハ ステージア ELS−02C（礼拝堂）
・電子オルガン ヤマハ ステージア ELC−02（第1音楽室）
・マリンバ コオロギ PF3000CC 5oct.（第1視聴覚室）
・ヴィブラフォン サイトウ VS−4000PS（第1視聴覚室）
・ティンパニ ヤマハTP－83　6台（第1視聴覚室）
・**チェンバロ フレンチ 二段 エムシュモデル（練習室）**　など

行事予定
Music Course Events

定期的にコンサート・演奏会などを実施しています。人前での演奏の機会は短期の目標となり、数多くの経験が演奏力・表現力の向上につながります。

1 音楽会

校内オーディションにより選出された生徒が高いレベルの演奏を披露します。
音楽系部活動の演奏も行われます。熊本県立劇場で行われます。

2 芸術コース演奏会

1年間の成果を発揮する場として、毎年3月に実施。
会場の設営から演奏会の運営までを生徒たちが自ら行います。

3 主科・副科発表会

年に5回行われる主科・副科発表会は、生徒たちにとって日頃の練習の成果を発揮できる大切な場面であり、良い刺激となっています。人前で演奏する機会を多く持つことにより、演奏力の向上を目指します。

２０１９年度入賞実績

＜声楽＞
・熊本県高等学校独唱コンクール　金賞
・全日本学生音楽コンクール北九州本選　入選
・熊日学生音楽コンクール　最優秀賞・熊本市賞
・全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会 第５位

＜ピアノ＞
・熊本県高等学校ピアノコンクール　銀賞
・ビティナ･ピアノ･コンペティション地区本選　入選
・全日本ジュニアクラシック音楽コンクール　全国大会 審査員賞

＜木管楽器＞
・熊本県高等学校管打楽器独奏コンクール県代表選考会　第２位
・日本クラシック音楽コンクール本選　優秀賞

＜金管楽器＞
・熊本県高等学校管打楽器独奏コンクール県代表選考会　第２位
・JBAソロコンテスト九州大会　銀賞

＜弦楽器＞
・全日本学生音楽コンクール北九州本選　入選
・熊日学生音楽コンクール　最優秀賞･熊本県知事賞
（全国新聞社コンクール代表）

＜電子オルガン＞
・EF コンクール地区ファイナル　銀賞

＜弦楽アンサンブル＞
・全国高等学校総合文化祭佐賀大会　優秀賞

＜吹奏楽＞
・熊本県吹奏楽コンクール代表選考会　第4位

＜合唱＞
・熊本県合唱コンクール　銀賞

卒業生の活躍

南部 真歩さん

東京音楽大学 音楽学部
器楽科　管・打楽器（サクソフォーン専攻）1年
2020年に本校芸術コース / 音楽専攻を卒業

刺激を受け合いながら切磋琢磨できる仲間達

私がルーテル学院を選んだ理由は、音楽の勉強をしたかったからです。同じ目標を持った仲間はもちろん、先輩や後輩の演奏も聞き良い刺激を受け合うことができます。また、専門楽器だけにとらわれず幅広い視野で音楽を学べるのも魅力の一つだと思います。私自身２年次にピアノからサクソフォーンへと転科しました。演奏できる機会が多いことや音楽の基礎知識が身につくこと、先輩や後輩とのつながりができることなどルーテル学院の音楽専攻にはたくさんの魅力があります。

芸術コース校内演奏会▶
（本校礼拝堂）

植川 志保さん

オーケストラ、クラリネット奏者
2000年に本校芸術コース / 音楽専攻を卒業
東京藝術大学音楽学部器楽科卒業

ドイツでの演奏家活動

大学卒業後渡欧しドイツとスイスの音楽大学にてさらに研鑽を積みました。どこの国でも演奏家として生活するのは大変なことで、紆余曲折ありましたが、現在はドイツ、ハノーファーの州立歌劇場での契約を終え、ブレーメンフィルハーモニー管弦楽団の副首席奏者の傍ら、北ドイツを中心にオーケストラでの仕事をしています。学生時代からいつかは本場の地で勉強したいと思っていました。ドイツには各都市に歌劇場やオーケストラがあり常に多数の芸術活動がなされています。そんな地での演奏活動で日々新しいものとの出会いがあり、常に付きまとうプレッシャーはありますが、いくつになっても勉強できる楽しみを感じています。

◀ハノーファーの
歌劇場

在学中の思い出

演奏者にとって重要な経験

ルーテル学院音楽会です。オーディションによる合格者が熊本県立劇場のコンサートホールで演奏することができます。3年に1回は全校生徒が芸術鑑賞で聞きにきます。約1000人以上のお客さんの前で演奏することは滅多にないことなので、とても良い経験をさせていただきました。また、出演者以外は舞台裏の仕事を経験できます。舞台裏の仕事を知ることは演奏者にとって重要なことだと思います。

役立ったことや身についたこと

自信につなげる実践教育

ルーテル学院では聴音・新曲視唱などのソルフェージュや音楽理論の授業が少人数制で充実しています。そのため、音楽の基礎能力が身につきました。また、授業中の発表会やミニコンサート、音楽会など人前で演奏する機会が多くあったので自分の自信につながりました。友達同士でアドバイスしあったり聞いたりしながら成長できたと思います。

高校時代

支えてくれた仲間に感謝

実家が遠いため学校の寮で過ごしました。寮内にしっかりと防音室等の設備もあり、また規則時間外での活動が多かった私にもご理解をいただき、とても充実した高校生活を送ることができました。芸大受験の決断も遅く一年浪人もしましたが、先生方には授業など表向きのこと以外にも大変な受験まで大きなメンタル面の支えにもなっていただき本当に感謝しています。またクラスには同じ音楽の道を目指す友達がいたことがとても心地良く、共に受験に挑む仲間がいたことはとても大きな支えでした。厳しい受験までの期間をそれでも大いに笑って過ごせたのは本当にここでできた友達のおかげです。

大学時代

自分と向き合える環境

日本中から優秀な若い音楽家たちが集まり、初めの頃はついていくのに必死でした。しかしそんな中だからこそ、先生のレッスン以外にも幅広く勉強の機会がありました。常に競争を強いられる世界ですが、その中で自分が一人の音楽家としてどうあるべきか、何が自分の強みであるかを考える良い環境でした。

◀ベルリン音大の仲間と東京で演奏会をしたときの写真

■進路実績

2019年度 芸術コース 芸術系大学合格一覧(音楽)【2020年3月現在】

音楽専攻

専門分野である「声楽」「ピアノ」「管・弦・打楽器」等の技術向上だけではなく、大学進学を目指してソルフェージュや音楽理論をより深く勉強し、音楽の楽しみを伝えられる人材育成を目指しています。目指す進学先としては、難関国公立芸術大学や、有名私立音楽大学(桐朋学園大学、東京音楽大学、国立音楽大学、武蔵野音楽大学など)です。中には高校卒業後すぐに海外留学をする者もいます。また、音楽の知識を生かし、幼児教育や音楽療法の分野を目指す者もいます。

学校名	学部	学科	専攻 / コース	16	17	18	19	20
沖縄県立芸術大学	音楽	音楽表現	弦楽器(チェロ)			1		
桐朋学園大学	音楽	演奏	フルート	1				
東京音楽大学	音楽	器楽	管・打楽器(サクソフォーン)	1				1
			管・打楽器(ホルン)				1	
			弦楽器(チェロ)		1			
昭和音楽大学	音楽	芸術運営	音楽療法		1		1	
			音楽教養				1	
			アートマネジメント			1		
		音楽芸術表現	弦・管・打楽器演奏家Ⅰ(ヴァイオリン)			1		
			ピアノ演奏家			1		
			声楽		1			
洗足学園音楽大学	音楽	音楽	ピアノ		2	1	1	
			フルート				1	
			打楽器				1	
			チェロ		1			
			ジャズ			1		
			ミュージカル	1		1	1	
大阪芸術大学	音楽	音楽	音楽・音響デザイン				1	
		初等芸術教育	初等教育				1	
エリザベト音楽大学	音楽	演奏	鍵盤楽器				1	
活水女子大学	音楽	音楽	演奏表現(ユーフォニアム)					1
平成音楽大学	音楽	音楽	ピアノ				2	1
			声楽			1		
		こども			1	1	1	1
鹿児島国際大学	国際文化	音楽	器楽(管弦打楽器演奏家・トロンボーン)			1		
大分県立芸術文化短大		音楽	器楽(ピアノ)	1		1	1	1
			器楽(チェロ)	1				
			作曲	1				
桐朋学園芸術短期大学		音楽	ヴァイオリン	1				
			トロンボーン					1
福岡女子短期大学		音楽	サクソフォーン			1		
			ピアノ	1				

大学・専門学校卒業後の主な就職先

演奏家(フリー) / 陸上自衛隊音楽隊 / タレント(サンミュージック大阪) / 楽曲制作・アーティストマネージャー等(フリー)
リトミック講師 / 音楽療法士 / 保育士 / 幼稚園教員 / 小学校教員 / 中学校教員 / 高等学校教員 / 特別支援学校教員
実技指導者(フリー・楽器店・音楽学校) / 村松楽器販売株式会社 / その他一般企業

■進路実現のための取り組み

01 指定校推薦枠

本校では卒業後に一層音楽を学びたいと希望する生徒の進路を実現するために下記に記載する学校のほか多数の指定校推薦枠を有しています。

- 桐朋学園大学
- 国立音楽大学
- 武蔵野音楽大学
- 昭和音楽大学
- 平成音楽大学

他多数

02 進学指導

上級学校への進学には、現在、AO入試、指定校推薦入試、公募推薦入試、一般入試などがあります。難関音楽系大学でも、専攻によっては指定校推薦入試を受けることができる大学もあります。AO入試、推薦入試では専攻実技試験と志望理由書が必要になることが多く、それらの対応について指導をしています。いずれの入試に対しても対応できるように、過去の実績をもとに各大学との密接な関係を築いており、オープンキャンパスや講習会以外でも、学校見学や体験レッスンなどを受け入れていただいています。生徒本人が希望する進路のイメージを大切に、柔軟に対応しています。

■音楽の魅力を伝える指導者たち

常定 知基 教諭

大阪教育大学特別教科(音楽)教員養成課程
声楽専攻卒業

在学中より1995年まで、バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)にて活動し、神戸松蔭チャペルコンサートシリーズ、いずみホール(大阪)音楽の原点の旅シリーズ、栃木「蔵の街」音楽祭等にてルネサンス・バロック音楽を中心に演奏活動。その後、2002年まで同合唱団神戸メンバーによるアンサンブル・ヴォックス・フマーナにて活動し、〈Psalms〜日本語によるジュネーヴ詩編歌〉(神戸ルミナリエ)等のCD録音に参加した。

音楽の本質に触れることがなければ、素晴らしいテクニックを持っていても全く役には立ちません。十分に音楽を感じ、イメージを育て、聴いてくださる方々に音を通して大切なメッセージを届けるのです。音楽の本質を共に考えながら、大切な3年間を過ごしましょう。

田川 美喜子 教諭

本校芸術コース卒業
武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業
洗足学園音楽大学大学院音楽研究科修了

オペラ「魔笛」にダーメⅠ役、「ヘンゼルとグレーテル」に眠りの精役で出演。
熊本県高等学校声楽コンクール金賞。滝廉太郎記念 全日本高等学校声楽コンクール出場 九州音楽コンクール 声楽部門 審査員特別賞受賞。八代青少年音楽コンクール声楽部門 金賞受賞。熊本県新人演奏会に出演。「森田美喜子」で演奏活動をしている。

大津山 姿子 講師

本校芸術コース卒業
国立音楽大学音楽学部
教育音楽学科第Ⅱ類専攻卒業

国立音楽大学在学中より、リトミックを専攻し、卒業後は、ピアノ指導者として、また、大学を含む教育機関等での講義を通して後進の指導に当たりながら、音楽表現の研究を続けている。
現在、熊本学園大学特任講師兼任、九州地区大学音楽教育会会員、ピティナピアノコンペティション全国大会審査員等各種コンクール審査員・アドバイザーを務める。

山本 祐歌 講師

本校芸術コース卒業
国立音楽大学音楽学部
器楽学科ピアノ専攻卒業

熊本県高等学校ピアノコンクール金賞。
熊本県新人演奏会、ＲＫＫアトリウムコンサート出演。現在、ルーテル学院で教鞭をとる傍ら、器楽や声楽、ファミーユ・ヴォイス・アンサンブルの伴奏者として活動している。

吉井 恭子 講師

本校芸術コース卒業
活水女子大学音楽学部声楽学科から編入し、
ピアノ・オルガン学科卒業
ファミーユ・ヴォイス・アンサンブル団員

現在、ルーテル学院で教鞭をとる傍ら、ピアノや歌を通して子どもたちの音楽教育の育成に励んでいる。

ART

芸術コース

美術専攻

個人の強みを生かし将来性を伸ばす

身につく能力

自分の適性を伸ばす力

美術を生かした
進路の道へ進む基礎づくり

将来の可能性の広がり

授業内容

- 絵画
- 色彩構成
- 素描
- クロッキー
- デザイン
- 進路に合わせた特別指導　など

芸術コース美術専攻は社会に貢献できる優れた美術作家、デザイナーの育成を目標として定め、生徒一人ひとりに対応した細やかな授業を実践しています。県内美術系コース、および専門科を持つ高校の中で唯一デザインまたは絵画を専門科目として2年生より選択できます。
進路実現に最も適した環境とカリキュラムを整え、生徒の将来進むべき道筋を照らし、生徒と先生が一丸となって進んでいきます。

芸術コース美術専攻専用の美術棟には、デッサン室、油彩室、デザイン室等大きく4つのアトリエスペースがあります。立体的で開放感があるアトリエは、創作活動を行う上で適した空間となっています。個別での指導や、専門の講師から教わることで個人の能力を伸ばし、将来の可能性を広げる授業を行っています。

在学生の声

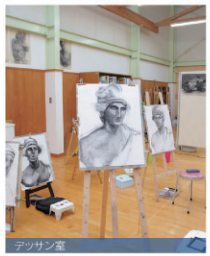
集中できる環境が自分を高める

デザイン専攻
3年　藤林 ひなさん
（力合中学校出身）

美術専攻では、有名美大出身の先生方の下で日々美術を学んでいます。専門的な技術を身に着け、毎年多くの生徒が美大に進学しています。木に囲まれて開放的な美術棟は集中して制作に取り組めるとてもいい環境です。

整った環境

美術研究所による特別授業


デッサン室

油彩室

デザイン室

充実したカリキュラム

▶選択必修科目

	美術Ⅰ
1年	2

▶芸術コース専門科目

	素描Ⅰ	素描Ⅱ	素描Ⅲ	絵画Ⅰ	絵画Ⅱ	絵画Ⅲ	構成Ⅰ	構成Ⅱ	デザイン
1年	1			1			2		
2年		3			4●			1	4●
3年			3			6○			6○

2年生以降は絵画またはデザインを選択して受講することになります。＊2年の●印、3年の○印は選択教科です。
※芸術以外の科目については、本校パンフレットをご覧ください。

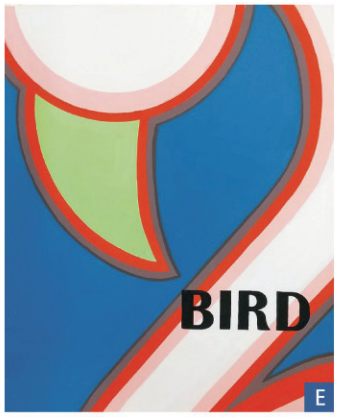
受験に向けた特別指導

受験に向けた特別指導

1年生には全員共通課題の制作を行います。自分の適性がどういうものか確認することを目的としています。2年生は絵画、デザインのいずれか一方を専門として選択し、個別指導により、進路に合わせた課題を設定しています。
3年生にはそれぞれの進路に合わせた、より専門的な特別指導により、生徒の将来を見据えた授業を行います。

進路について考える

生徒一人ひとりに対応した細やかな進路指導を行っています。社会に貢献できる美術作家、デザイナーを目指し、年間数回、本校にて関東などの芸大・美大受験専門の美術研究所よりレクチャーを受ける機会もあります。自分の将来について、深く考える良い機会となっています。



画像提供：湘南美術学院

行事予定
Art Course Events

定期的に、美術館見学を行っています。また、美術展に向けた創作や外部からの実技講習など数多くの創作経験が表現力の向上につながります。

1 芸術コース美術展　展示会へ向けた、短期目標の設定により、創作活動に張り合いと計画性をもたらします。

2 予備校特別講義　関東で有力な芸大美大受験予備校、研究所のうち複数校から無料での実技講習や作品講評、大学入試分析などのレクチャーを無料で受講できる機会を設けています。

美術専攻 入賞実績 （過去５年間）

2015年
- 高校生国際美術展／文部科学大臣賞
- くまもと「描く力」2015／入選（2名）
- カードアート大賞展 2015／入選（2名）

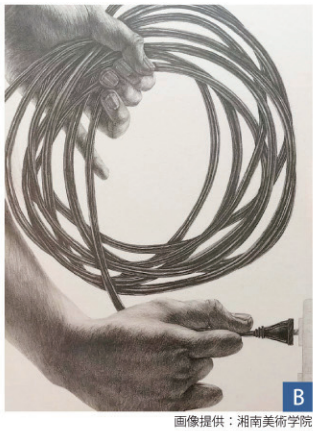
2016年
- くまもと「描く力」2016／優秀賞
- くまもと「描く力」2016／入選

2017年
- くまもと「描く力」2017／入選

2018年
- くまもと「描く力」2018／優秀賞
- くまもと「描く力」2018／入選
- カードアート大賞展 2018／準大賞

2019年
- 高校生国際美術展／奨励賞
- くまもと「描く力」2019　チャレンジ部門／特選２席、入選
- カードアート大賞展 2019／準大賞

画像提供：湘南美術学院



画像提供：湘南美術学院

画像提供：湘南美術学院

画像提供：湘南美術学院

美術専攻　生徒作品

- A 東京藝術大学合格者作品
- B 多摩美術大学合格者作品
- C 武蔵野美術大学合格者作品
- D 女子美術大学合格者作品
- E 佐賀大学合格者作品
- F 在校生作品

卒業生の活躍

園田 美宙さん

武蔵野美術大学 造形学部
デザイン情報学科 1 年
2018 年に本校芸術コース / 美術専攻を卒業

先生方の適切な指導

入学当初は授業についていけるか不安でしたが、先生方の適切な指導のお陰で美術の基礎や感覚を身につけることが出来ました。

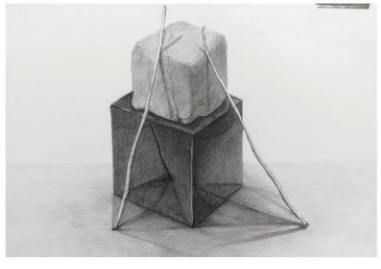
浪人時代の作品▶

在学中の思い出

刺激しあえる仲間達

3年間の高校生活では、同じ目標を持った友人達と放課後遅くまで制作に取り組んだことや、展示会に行った事が思い出です。時には互いの作品を見て講評し合い、刺激を受ける事が出来ました。

高校生活と浪人生活で学んだ事



2つの大切なこと

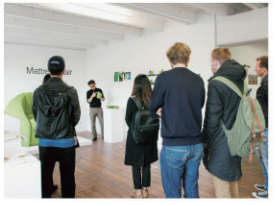
高校生活と１年間の浪人生活を通して大切だと思った事が２つあります。
１つ目は、作品の講評が終わった後は直ぐにスケッチし直すことです。
２つ目は、自分が好きな画家の作品やデザインを沢山集めてファイリングする事です。集めておくことで自分の制作に生かす事が出来ます。

宮本 翼さん

株式会社スノーピーク勤務
2011 年に本校芸術コース / 美術専攻を卒業
ブレーメン芸術大学総合デザイン学科卒業

作品を日本全国の人々へ

卒業後、ドイツで学んだ自然と共存する生活スタイルを日本でも当たり前にしたいという強い気持ちからスノーピーク株式会社の企画開発部に入りました。ドイツでは当たり前のように川や山に行ってコーヒーを作ったりしながらゆっくりする日々を送っていました。そんな素敵な時間を当たり前にできるような企画開発をするため入社しました。
これからはみなさんの素敵な時間を作り出せるような商品を生み出せるよう頑張りたいです。



◀学校内でのプレゼンテーションの様子

高校時代

可能性を広げるための基礎を身につけた

''絵やデザインに興味がある'' という理由で芸術コースに行くことを選択しました。コース内ではいろんな感性を持った仲間と出会い良い刺激をたくさんもらい、またヨーロッパ研修では自分の視野を大きく広げることができました。プロダクトデザイナーになるということも先生方と話して決め、それを叶えるべく３年間で基礎をしっかり勉強することができました。
高校で学んだことはこれからも間違いなく自分の財産です。本当に先生方には感謝でいっぱいです。

大学時代

自分を試す

大学ではひたすらプロジェクトに没頭しました。何度も何度も挑戦、失敗を繰り返しながら自分のデザインプロセスを作りました。一年に数回ある展示会では、プレゼンテーションを繰り返し行なってたくさんの方からフィードバックをもらって自分が気づかなかったことを一つ一つ見直し、自分に何が足りていないのか見直す日々を送っていました。大学の課外授業で訪れた、家具メッセでは、自分と同じ世代のデザイナー達が自分のデザインを持ち込んで家具メーカーと仕事をしている風景をみてとても刺激を受けました。留学して何よりアクティブに自分から動くことの大切さを実感しました。

進路実績

2019年度 芸術コース 芸術系大学合格一覧(美術)【2020年3月現在】

美術専攻

有名難関美術大学の入試倍率は極めて高く、現役での合格は難しいと言われています。その中でも主要大学とされる東京藝術大学、愛知県立芸術大学、首都圏主要４美大（武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学）に合格した本校生徒の平均浪人年数は0.65年という驚異的な数値を残しています。（1997年以降）
また、上記の大学には現在まで、22年連続で現役合格者を出し続けています。

学校名	学部	学科	専攻 / コース	16	17	18	19	20
東京藝術大学	美術	絵画	油画専攻	3			1	
武蔵野美術大学	造形	油絵	油絵専攻	1				
		基礎デザイン						1
		デザイン情報						1
多摩美術大学	美術	絵画	油画専攻	2		2	1	
		生産デザイン	プロダクトデザイン専攻				1	
		統合デザイン						1
		彫刻				1		
東京造形大学	造形	美術	絵画専攻			1		
		デザイン	テキスタイルデザイン			1		
			グラフィックデザイン					1
女子美術大学	芸術	美術	洋画				1	1
			日本画		1			
		工芸	工芸		1			
		ヴィジュアルデザイン					1	2
崇城大学	芸術	美術	洋画	2	1	2	1	2
			日本画					1
		デザイン			2	1		1
長岡造形大学	造形	美術・工芸					1	
佐賀大学	地域芸術デザイン			1				2

大学・専門学校卒業後の主な就職先

電通 / (株)バルコスペースシステムズ / モンベル / ナンバーワンデザインオフィス / 株式会社日本テレビアート（日本テレビグループ）
多摩美術大学助手 / サンスター文具株式会社 / ジュノー株式会社 / ケーアールケープロデュース株式会社 / 株式会社Francfranc
スタジオ雲雀 / Bauhaus-Universität Weimar（ドイツ） / フリーランスイラストレーター / フリーランスデザイナー/ スノーピーク

卒業後の留学先

Dresden Academy of Fine Arts（ドイツ） / Hochschule für Künste Bremen（ドイツ）

進路実現のための取り組み

01 指定校推薦枠

本校では卒業後さらに美術を学びたいと希望する生徒の進路を実現するために下記に記載する学校のほか多数の指定校推薦枠を有しています。

- 東京造形大学（2名）
- 女子美術大学（11名）
- 名古屋造形大学
- 九州産業大学
- 崇城大学

他多数

02 進学指導

上級学校への進学には、現在 AO入試、指定校推薦入試、公募推薦入試、一般入試などがあります。難関美術系大学では一般入試が中心となっています。AO入試、推薦入試では作品ファイルや志望理由書が必要になることがほとんどです。いずれの入試に対しても対応できるようにクロッキー制作をはじめ、普段の課題を設定しています。必要があれば美術研究所と連携して合格に近づくことができるよう丁寧な指導を心掛けています。生徒本人の志望する進路に柔軟に対応しています。

技術と表現力を分かり易く指導します

石村 桂輔 教諭

東京藝術大学 美術学部
絵画科 油画専攻卒業
同大学院修了
修了制作大和銀行
（現りそな銀行）買い上げ

熊本県立第二高等学校美術科入学後、制作活動を始める。
東京藝術大学在学中から芸大・美大受験指導に携わり、東京の美大受験予備校にて油絵科講師としての経験を持つ。

1995年　3人展　ギャラリー8（東京：高田馬場）
1996年　同上
1997年　個展　ピストロ水主（東京：板橋）
1998年　個展　サンベアー（東京：板橋）
1999年　個展　ギャラリーU（東京：目黒）
　　個展　Keyギャラリー（東京：銀座）
　　個展　ピストロ水主（東京：板橋）
2000年　第21回「国際インパクトアートフェスティバル」（京都）
2001年　3人展　上通郵便局ギャラリー
2002年　ビエンナーレKUMAMOTO入選
2004年　ビエンナーレKUMAMOTO Ⅱ 入選
2005年　辺の会展（熊本：くまもと阪神画廊）
2006年　辺の会展（熊本：くまもと阪神画廊）
　　（熊本：ギャラリー・カフェ・トト）
2007年　辺の会展（熊本：熊本県立美術館分館）
2008年　辺の会ドローイング展
　　（熊本：ギャラリー・カフェ・トト）
2009年　辺の会展（熊本：崇城大学ギャラリー）
　　辺の会展（熊本：熊本県立美術館分館）
2011年　辺の会展最終回
　　（熊本：熊本県立美術館分館）
2014年　くまもと「描く力」2014 入選
2018年　辺の会 ふたたび…2018
　　（熊本：崇城大学ギャラリー）

橋本 尚 教諭

武蔵野美術大学
造形学部 油絵学科卒業

熊本県立第二高等学校美術科入学後、制作活動を始める。武蔵野美術大学では、故・前田常作に指導を受ける。在学中より博物館展示用模型、映画撮影用プロップの制作を手がける。ルーテル学院80周年記念改修工事においてカラーコーディネーションを担当した。
日本美術家連盟会員。

1992年　グループ展（武蔵野美術大学）
1994年　グループ展（東京藝術大学）
1995年　3人展　フタバ画廊（東京：銀座）
1998年　熊日新聞社21世紀アート大賞入選
2001年　3人展　上通郵便局ギャラリー
2003年　辺の会展（福岡：福岡市美術館）
2004年　武蔵野美術大学校友会
　　熊本支部展新人賞
2005年　辺の会展（熊本：くまもと阪神画廊）
2006年　辺の会展（熊本：くまもと阪神画廊）
　　（熊本：ギャラリー・カフェ・トト）
2007年　辺の会展
　　（熊本：熊本県立美術館分館）
2008年　辺の会ドローイング展
　　（熊本：ギャラリー・カフェ・トト）
2009年　辺の会展
　　（熊本：崇城大学ギャラリー）
2011年　辺の会展最終回
　　（熊本：熊本県立美術館分館）
2018年　辺の会 ふたたび…2018
　　（熊本：崇城大学ギャラリー）

門田 奈々 講師

東京藝術大学 美術学部
デザイン科卒業

主な仕事 朝日新聞社、熊本日日新聞社の挿絵イラスト担当、広告や雑貨イラストの活動等。現在、株式会社白鳳堂季刊誌『ふでばこ』にて挿絵担当。
岐阜県立加納高等学校美術科卒業。
東京藝術大学卒業後、広告制作会社を経て現在画家・イラストレーター。

2004年　東京藝術大学デザイン科卒業
2011年　個展 銀座三越百貨店
2013年　個展 日本橋三越本店
　　二人展 熊本鶴屋百貨店
2014年　Heart Art in Tokyo 新人賞/
　　お菓子の香梅
　　第6回香梅アートアワード
　　奨励賞 受賞
2016年　ART APART FAIR
　　-SINGAPORE ISETAN-
2017年　Animals in the BOX
　　-Bunkamura gallery-
　　門田奈々 猫展-ふくまねき-
　　ギャラリーアーク
　　他、個展・グループ展多数
2018年　GINZA SIX Artglorieux Gallery
　　アニマルExihibition
　　Bunkamura Gallery
　　未来を担うアーティストたち
　　-セフィーロ展Ⅳ-
　　小田急新宿店本館
　　他、個展・グループ展多数

音楽専攻

美術専攻

ルーテル学院ならではの特色

01 ヨーロッパ研修旅行（隔年希望制）

ウィーン（オーストリア）、ローマ（イタリア）等を６泊８日で研修します。芸術コースだけの研修旅行で、参加は希望制です。具体的には、チケット入手が困難なウィーン国立歌劇場でのオペラ鑑賞を行ったり、教科書に載っている名画の数々を直接鑑賞したりする研修です。

02 学校からの補助

以下のコンクールにおいて、セレクションを通過して九州大会・全国大会に参加する場合、参加費・遠征費の全部または一部が支給されます。

- 高等学校文化連盟主催の各種コンクール
- 全日本学生音楽コンクール
- ピティナ・ピアノコンペティション
- その他、芸術科において認められたコンクール

03 奨学制度（学力・芸術奨学生）について

入学試験の結果によって、奨学資格Ａ・Ｂ・Ｃを与えることがあります。
Ａ・Ｂ奨学生については、毎年、年度末の審査を経て、次年度の奨学資格の有無が決定されます。

	入学金 90,000円	授業料
A	40,000円 免除	授業料相当額の全額を支給
B	40,000円 免除	授業料相当額の半額を支給
C	40,000円 免除	

授業料相当額とは、授業料より就学支援金を差し引いた額をいいます。
校納金については募集要項をご覧ください。

筆記試験の成績により与えられる奨学生（学力）と、実技試験により芸術実技の力を認めて与えられる奨学生（芸術）があります。奨学生(芸術）の場合は前年までの個人実技の実績、または入試（専願・奨学）の実技力においてきわめて優秀と認められる場合に与えられます。入学時に該当しない場合も入学後の実績次第では次の学年で奨学資格を得ることができます。なお、奨学生（学力）と奨学生（芸術）の資格は同時に取得することはできません。奨学生の資格は単年度審査となっています。

入学試験過去問題

音楽専攻

01 聴音　2020年度 専願・奨学

02 聴音　2020年度 一般

03 新曲視唱　2020年度 専願・奨学

04 新曲視唱　2020年度 一般

POINT

聴音

「専願・奨学」「一般」ともに8分音符までの音符と休符を使用しています。
休符があるのかないのかをしっかりと聴き分けてください。

新曲視唱

聴音同様、8分音符までの音符と休符を使用しています。
フレーズの終わりの音符の長さに気をつけてください。

美術専攻

01 実技試験　2020年度 専願・奨学

机上にセットされたモチーフを水彩絵の具と鉛筆によって表現しなさい。

POINT

ティッシュの箱の正確な比率、プリント柄のなかでも特徴的な部分の抽出と色画用紙の映り込みを表現することがポイントです。

02 実技試験　2020年度 一般

机上にセットされたモチーフを水彩絵の具と鉛筆によって表現しなさい。

POINT

色違いのレンガの描き分け、金魚鉢の中のボールのガラス越しに見えるものと直接見えるものの描きわけが大事です。

美術専攻の実技試験の内容はB3の画用紙（タテ・ヨコ自由）に、与えられた条件に従って鉛筆および水彩絵の具によって表現するものです。日頃から時間内に完成できるような練習をしておくことをお勧めします。表現の方法については、鉛筆を主体とした淡彩あるいは色彩を重視した表現などがありますが、固定観念を持たずに自由に表現してください。

実技試験実施要項

募集定員

音楽専攻・美術専攻　合計約40名　（音楽専攻 約20名・美術専攻 約20名）

実技試験

学力試験（国数英3教科）終了後に行います。

音楽専攻

（1）オリエンテーション	筆記試験終了後
（2）専攻実技	13:15～
（3）聴音	実技終了後
（4）新曲視唱	聴音終了後
（5）集団面接（専願受験生のみ実施）	新曲視唱終了後

※詳細な時間は当日提示
※昼食は各自持参してください。

美術専攻

（1）オリエンテーション	筆記試験終了後
（2）実技	13:15～
（3）集団面接（専願受験生のみ実施）	実技終了後

※詳細な時間は当日提示
※上履き持参（美術専攻のみ）
※昼食は各自持参してください。

試験内容

音楽専攻

1）　専攻実技（演奏は暗譜のこと）
（ア）　ピアノ専攻
現在の実力が分かる曲を1曲演奏すること。
（ピアノソロ曲に限る。また緩除楽章および変奏曲を除く）
（イ）　管弦打楽器専攻
楽器演奏は無伴奏で行うこと。
楽器は受験者が準備すること。但しマリンバは、KOROGI PF3000CC
(5オクターヴ)を本校にて準備する。
（ウ）　声楽専攻
伴奏者用楽譜（写し）を出願時に提出すること。（ピアノ伴奏者は本校で準備する）
（エ）　電子オルガン
ヤマハステージアカスタムELC-02を本校で準備する。

2）　共通課題（適性検査程度）
（ア）　簡単な旋律聴音（ハ長調・8小節）　（イ）　簡単な新曲視唱（ハ長調・8小節）

美術専攻

水彩画（B3画用紙）
所要時間3時間
【備考】　※水彩用具一式、鉛筆、消し具は各自用意すること。
ただし、ポスターカラーおよびアクリル絵具は不可。
※用紙・画板は本校で準備する。

試験会場

ルーテル学院高等学校

音楽専攻　3号館　第1、2音楽室　美術専攻　美術棟

実技試験についての問い合わせ先
音楽科：常定・田川　美術科：石村・橋本
TEL：096-343-3246

※さらに詳しい情報はホームページをご覧ください。　http://www.luther.ed.jp/hs/admission/admission4.html
TOP>　入試・入学情報>　芸術コース入試

おしらせ

オープンキャンパス
などの公開イベントの
情報に関しては、
学校ホームページを
ご覧ください。

交通アクセス

ＪＲ熊本駅

■駅前（白川口）電鉄バス三軒町経由［C5-3・C5-4・C5-5・C5-6・C9-1・C9-2・C9-4・C9-5］に乗り
ルーテル学院前下車（所要約 30 分）

■駅前（白川口）健軍町行き市電に乗り水道町下車、
電鉄バス三軒町経由［C4 系統・C5 系統・C6 系統・C7 系統・C9 系統］に乗り換えルーテル学院前下車
（所要約 40 分）

ＪＲ上熊本駅

■駅前（上熊本駅前）から熊本都市バス第１環状線または熊本市営バス昭和町行き［F4 系統］に乗り浄行寺下車、
電鉄バス（三軒町経由）に乗り換えルーテル学院前下車（所要約 25 分）

■駅前（上熊本駅前）から熊本電鉄菊池線に乗り坪井川公園駅下車、徒歩で本学（所要約 15 分）

桜町バスターミナル

■電鉄バス［C4 系統・C5 系統・C6 系統・C7 系統・C9 系統］に乗りルーテル学院前下車（所要約 15 分）

自動車 / 福岡方面

■九州自動車道（植木 IC）下車、国道３号線を熊本市中心部方面に約12 km、
室園交差点から斜左に進み電鉄バス・ルーテル学院前バス停まで（所要約 30 分）

ルーテル学院高等学校
〒860-8520 熊本市中央区黒髪 3-12-16
TEL 096-343-3246　FAX 096-343-3455
http://www.luther.ed.jp/hs/

ルーテル学院中学校　九州ルーテル学院大学　認定こども園 ルーテル学院幼稚園